

読みたくなる議会だよりを

7月29日(金)アイリス愛知での、第29回愛知県町村議会広報研修会に参加した。講師は、広報コンサルタントの芳野政明氏。講話では、議会だよりの目的は、住民の議会への関心を高めること、読みたくなる議会だよりづくりをすることが大切である。議事が伝わるまでが議会活動であるといわれた。

今回、豊山町は「議会だよりクリニック」にも挑戦。28年3月定例会の議会だよりを添削していただいた。講評では、課題がたくさんあり、特に、一般質問の見出しでは、何を質問したいのかわかる見出しにするべきと指摘があった。また、出来れば住民登場の企画がほしいとアドバイスがあった。

今回の研修を活かし、読みやすくわかりやすい議会だよりを目指したい。



議会用語解説

おしえて!? 地空人く〜ん 第6回

皆さんに
議会用語を
分かってもらえるように…
議会運営の用語を中心に
僕が分かりやすく
説明していくよ〜

監査委員【かんさいいん】

自治体の財務や事業が適切に行われているか監査するんだよん。

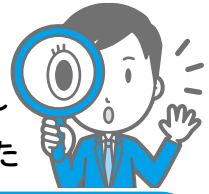
市町村の監査委員は、議員の中から必ず一人は選ばれるんだよん。

地空人くん



追跡

〜どうなった あの質問〜
平成27年9月の質問を追跡した



質問

自転車走行のルールや安全対策徹底を

県の自転車シミュレーターを活用してはどうか。
ルールが分からない方もいる。
出前講座を考えてはどうか。

答弁

出前講座の中で啓発に努める

シミュレーターを使用した走行体験やルールが学べる。
今後は、学校、老人クラブ等に紹介する。
出前講座の「安全講話」の中で周知啓発に努める。

どうなった

出前講座を実施した

夏の安全なまちづくり県民運動キャンペーンで、シミュレーターをエアポートウォーク名古屋に持ちこんで実施した。
老人クラブと全保育園を対象に、出前講座を実施した。

